

第3学年O組 社会科学習指導案

令和7年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 現代の国際社会と課題

2 単元の見方・考え方

- (1) 領土と国家主権、国際連合の働きなどの基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割があること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解することができる。
- (2) 文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

3 学習の計画 (15時間完了)

- | | | |
|-----|----------|--|
| 第1次 | 第1時 | 単元の見方・考え方を捉え、学習問題をつかむ。 |
| 第2次 | 第2時～第7時 | 国家と国際社会について調べる。 |
| 第3次 | 第8時～第10時 | 平和な世界を目指すための取組と日本の役割について調べる。 |
| | 第11時 | 発展途上国の現状と多様化する世界の様子について調べる。 |
| | 第12時 | 限りある資源とエネルギーについて調べる。 |
| | 第13時 | 地球規模の環境問題と国際協力について調べる。 |
| | 第14時 | 持続可能な社会をつくるための取組について調べる。 |
| 第4次 | 第15時（本時） | 単元の学習を生かし、持続可能な社会の実現に対する政策について考え、話し合う。 |

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 「平和で持続可能な社会の実現のために、日本はどのような役割を果たすべきだろうか」の問いに対して、対立と合意、効率と公正や持続可能性、国際協調などの見方・考え方を働かせながら考察を行い、自分の考えをもとうとしている。
- (2) 準備・資料
 - 生徒……ポートフォリオ
 - 教師……ワークシート
- (3) 関 連

3年 社会 現代社会の見方・考え方（現代社会の見方・考え方について考える）
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つかかむ	<p>1 単元の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。</p> <p>(1) 単元の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を実現するためにできる取組について考えた。 <p>(2) 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>平和で持続可能な国際社会の実現のために、日本はどのような役割を果たすべきだろうか。</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ポートフォリオを見直させ、前時までの学習を確認させる。 ○公民の学習で学んできた見方・考え方にはどのようなものがあったかを想起させる。 ○これまでに学習した見方・考え方を生かし、持続可能な社会の実現に向けて考えたことを話し合うことを伝える。

追究する	<p>2 本時の学習課題について考え、話し合う。</p> <p>(1) 国際社会における課題と自分にできる取組について振り返る。</p> <p>(2) 持続可能な国際社会における日本の役割についてまとめる。</p> <p>(3) グループに分かれて、まとめた考えを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界には十分な支援を受けられず、治る病気で亡くなる子どもたちが多数います。生きられるはずの命が多く助かってほしいので、日本の果たす役割は、発展途上国のへの援助が必要です。 	40	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の課題に対し、対立と合意、効率と公正や持続可能性、国際協調などの見方・考え方を働かせながら考えさせる。 ○ 巻末P. 2を参考に、ウェビング図を使って考えさせる。 ○ ウェビング図は考えを広げる時に使う思考ツールであり、短い言葉でまとめることを伝える。 ○ 考えをまとめる際は、トゥールミン図式を使い、事実・根拠、理由、主張に分けるとよいことを伝える。 ○ お互いに持ち寄ったウェビング図やトゥールミン図式を見比べさせることで、考えの類似点や相違点に着目し、考えを再構築させる。 <p>評単元の導入に立てた見通しを踏まえて学習を振り返り、次の学習や社会生活に生かそうとしている。（ワークシート）</p>
まとめる	<p>3 本時の学習をまとめ、振り返る。</p> <p>(1) 本時の学習についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現のために、日本は世界と連携することが大切です。 <p>(2) 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べてみると、資源回収にも取り組むことで、発展途上国の援助につながることが分かりました。今後は、具体的にどのくらいの人々が救われるかを調べ、自分にできる援助も探していきたいです。 	50	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポートフォリオに記入させる。 ○ 学習を始める前と比べて考えが変わったことや新たに分かったこと、考えが深まったことについて記入させる。 ○ これからの学習や社会生活に生かしていきたいことや、考え続けていきたいことにも触れさせる。

(5) 本時の評価規準

- 見方・考え方を働かせながら考察し、単元の導入に立てた見通しを踏まえて学習を振り返り、次の学習や社会生活に生かすことをワークシートに表現しようとしている。（ワークシート）

5 備考

(1) 学級の実態

- 活発に活動に取り組んだり、発言をしたりすることができる生徒が多い。一方で他者の意見を取り入れたり、認め合ったりすることを苦手とする様子がうかがえる。

(2) 指導の力点

- 学習課題について、ウェビング図やトゥールミン図式を活用することで、自他の考えの類似・相違に着目しやすくする。

6 指導と評価